

特進通信 Vol. 3 ～頑張る仲間をみんなで応援～

いよいよ夏休みです。全学年とも受験生にとって、夏休みは大事な期間です。夢を叶えたいなら、夏休みを無駄にするな！一・二年生も他人事とせず、今からイメージしておいてください。

【内容】

特進の先生方の『**高校時代の夏休みの思い出**』特集！



※勉強の合間に読んで、自分の学習にどんどん取り込んで
いってください。

私の高校3年生の夏休みは、効率よく学習を進めるため、はじめに学習計画を作成しました。第一志望校合格のために、何が必要で何をすべきかをよく考え、それに基づいて計画を立てました。とにかく苦手教科の学習にも取り組めるように、バランスを重視した計画にしました。

100%計画通りに学習できなくても、できるだけ計画通りに生活することで達成感を得ることもできましたし、2学期からの課題を発見することもできました。勉強中は不安になることはありませんでしたが、考えている時間が長いと不安も大きくなるのでとにかく行動することを心がけました。

受験に対する不安は、本気で第一志望に合格したいと思えば、決して消えるものではありませんが、常に勉強に励むことで小さくすることはできます。また、受験生の多くは受験本番になると8割程度の実力しかでないとされているので、8割の実力でも十分合格できるように学習計画を立てる必要があると思います。

盛山哲志

私は科学少年だったので、夏休みは自然観察の絶好のチャンスであった。中学の時に望遠鏡(ニュートン式8cm反射)を買ってもらっていたので、毎夜、火星や木星を観測し(当時は火星に生物が住んでいると多くの人が考えていた。)、スケッチを取ったり、何とか写真に撮ろうと苦心していた。また、渋谷に五島プラネタリウムがある時代であったので、高2の夏休みには毎日プラネタリウムに行き、解説を空んじるまで覚え、将来は教員かプラネタリウムの解説員になりたいと思っていた。

高2から高3にかけて、物理・化学・数学のおもしろさに惹かれ、のめり込むように勉強した。特に数列や微分法、 \log の計算などが得意でクラスの仲間に教えたりしていた。放課後、図書館に集まり、仲間に数学や物理を教えて人気者になっていた。

2年の終了時に正式に物理学科に進級する意思を固めた。それは数学そのものよりそれを応用して色々な現象を説明できる物理学に魅力を感じたからである。部活は水泳部、生徒会総務委員長(会長にあたる)をやっていたので勉強、部活、生徒会全てにおいて非常に充実した高校時代の夏休みを送った。

手塚泰郎

高校2年の夏より、将来の職業については目標がなかったが、数学が得意教科であることや費用の面で、志望は国公立大学の数学科と決めていた。オープンキャンパスには2年生、3年生の時に行き更に志望が強くなった。抑えの受験校も本番で迷わないために、オープンキャンパスに行っておいた。学校では、授業は真面目に聞いて、わからないところは友だちに教えてもらったり、先生に聞いたりした。宿題は結局は受験のためになるので期限を守るようにして終わらせた。

学校では講座はなかったので、予備校に通い、強制的に勉強するようにした。受験は自分ひとりで戦わなくてはならない。しかし、他校の受験生と混じって講義を受けたり自習室で勉強するのは、やはり緊張はするが集中もできる。まわりが見える気がした。切磋琢磨できるという印象もあった。夏休みは毎日朝9時に予備校に行き、夜11時に予備校を出た。気分が落ち込んだ時、どうして私は今勉強ばかりしているんだろう、と思ったときは、行き帰りに好きな音楽を聞いて元気を出していた。日曜日は少し自由時間を増やしてビデオを見たりしていた。

科目ごとに一番ききやすい先生が自分なりに決まっていた、理系科目は予備校の先生やお気に入りの先生、英語は苦手科目だったので放課後学校で1対1で教えてもらった。母にも、文系科目が得意だったので教えてもらった。わからない部分はすぐに解消できる環境という部分でも学校や予備校を多く利用した。

目標にはギリギリまで判定はEで到底届いていなかったが、千葉大に入りたいという強い意志と、周りの仲間のおかげでがんばれたのだと思う。

ラッキーだったのは、苦手な英語長文だが、学校や予備校で扱った文を内容を理解するまでしっかり復習しておいたら、実際の千葉大2次試験の英語で知っている文章が出題されたこと！努力と運が結果に結びつく！！

釣谷久美子



毎朝7:00に起きて午前中は3時間勉強、午後は10分休憩を適宜はさみながら、22:30まで勉強していた。1コマ90分を7コマ、10時間30分の勉強を欠かしたことはなかった。毎日ロボットのように決められた時間に起き、ご飯を食べお風呂に入るといった生活を送っていたが、22:30以降は好きな音楽を聴いたりテレビを見たりと、その日のノルマを達成した自分への“ごほうび”を与えていた。好きなことをする時間も設けていたので続けられたのだと思う。

また、夏休みといえば予備校の夏期講習を連想する人も多いだろう。夏期講習に出席していれば大丈夫と考えている人がいるならば、非常にナンセンスだ。むしろ、明確な目的を持たずに漫然と受けるのであれば、一浪もやむなしと今のうちに言うておく。夏期講習を特別なものと考えて、参加するだけで学力が上がると錯覚しているならば、そんなことは全くない。

学校の授業でわからなかったことが予備校のマンモス授業でわかるわけがない。大人数を相手にする授業では細かく丁寧な指導は無理だ。条件の悪い予備校の夏期講習に参加する価値があるとするば、よほど自分の内容にあった授業であるか、評判のいい授業だけだ。そうでない限り、行かない方がいい。ただし、評判のいい授業が自分にとって“いい授業”である保証はない。以上の理由から私は予備校に通わなかった。しかし、自習室を夜遅くまで利用できるという点では高く評価できる。周りも受験生ばかりだから環境もいいだろう。



最後に... 当時は勉強を苦に感じたり、このままの勉強方法で大丈夫なのかと不安になる時もあったが、毎日継続していくことが最終的に自信になる。

“自分は一日もサボらなかった”というのが自信になる。受験勉強がいい思い出となるように、頑張りましょー！！

齋藤広之

受験生としての夏休みは勉強した記憶しかない。朝8:00に予備校へ・・・行きの電車の中は英単語か古文単語(約1時間)。午前中講座を受講した後12:40に帰宅の途に。帰るときは政経の資料集を読む(約1時間)。14:00帰宅後は昼食をとり、すぐにその日の復習。間違えた問題を中心になぜ間違えたか、どうしてそうなるのか、を考えて90分くらいかけて復習した。その際音読も欠かさず行った。ここで15分間休憩する。あまりだらだら休憩すると次のやる気をそぐので短く済ませる。16:00くらいから英語長文読解予習(ハイレベル長文 or 早大上智大英語)40分、現代文読解(早大現代文)40分、古文読解(早大上智大古文)30分と読解中心の学習を展開した。とにかく夏休みは1日英語国語1長文読解を心掛けた。基本的に難関私大特に早大・慶大レベルは1分間に150語読めなければ解き終わらない計算になる。これは練習せずには決して達成されない。もし君たちがやってみようと思っても今始める状況だと40分では終わらないと思う。しかし、案ずるより生むがやすし。とにかくやってみろ！何時間かかっても。それが今の君の力だ！その時間を縮めていけばいいだけだ。読むことを辞めてしまっ読めるよう

になるか?だから何時間かかっても意地でも読み切れ! 18:00 夕食 19:00 入浴。19:45 くらいから英文法問題に取り掛かる。これはセンター試験や私大の文法選択問題に時間をかけないための練習。語順整序や前置詞、構文の習得を目標として大体 60 分ペースで行う。はっきり言うと、この手の問題は秒殺問題と言われており、本番では何分もかけて解いてはいけないのだ。この繰り返しの学習が長文に使える時間を大幅に増やすと考えてほしい。21:00 から息抜きでドラマを見る。(休憩 2 時間) 私のころはロングバケーション→スマスマ。ここでもだらだらせず 2 時間で終了。23:00 から古典文法完全学習。これには時間を割いた。大体 2 時間。おかげで今古典文法はほぼ定着している。1:00~5:00 政治経済学習。とにかく記憶すること。特に経済のシステムや政治のシステムを理解することが大切で、時事問題も結局はそのシステムにからめて出題される。政経に多くのテキストや参考書はいらない。自分の気に入ったもの、つまりはフィーリングが合ったテキストを探し出すことが大事だ! 私は 1 冊のテキストをボロボロになるまで学習した。これで大体 12.5 時間。予備校の授業は入れないよ! 入れたら 15.5 時間だね。これだけやれば合格に決まっている。睡眠時間は 3 時間あれば十分! 取ろうと思えばもっととれるが、自分はテレビを見る時間を取ったから仕方ない。志望校に合格するためには犠牲は必ず必要になる。犠牲を払わない人間に成功はない。 もし、欲求をすべてかなえたいのであれば、何かを削らなければならない。勉強時間を削るわけにはいかないので、睡眠時間しかないよな。さらにもう一つ、金の使い方にポリシーの無い人間! 例えば「模試は結果が出ないからまだ受けない、もしくは結果が出ないからもったいないから受けない」という人。自分の将来に対して金を使えない人間が、将来成功すると思うか? 模試や講座に使うお金はもちろん君たちが稼いだお金ではない。しかし、その何千円を投資しなかったばかりに自分の将来が変わってしまったらどうする? 君たちは素直に受け入れられるか? だから言えるのは君たちは保護者の方に頭は上がらないんだよ。今、家で偉そうにしてる人! 思い上がるのもいい加減にしろ!素直に頭を下げてお金が必要な理由をきちんと説明するんだ!

最後に・・・私も何度となく受験は苦しいとは思ったが、大学入試を突破することは自分のプライドとの戦いであると思う。顔も知らない誰かが作成した問題に俺というアイデンティティが敗れることは許されないと考える。大体の人がこの苦しさに耐え切れず、「自分にはそんなに勉強できない」という。そのくせ「みんなが名前を知っているようなもしくは国公立の大学に行きたい」という。これって矛盾してないか? 俺がおかしいのか、それとも君たちがおかしいのか? 本当にその大学に入りたかったらこれくらい全力を尽くすのは当然ではないのか? できるかできないか悩み立ち止まってしまうような夢は本当の夢じゃない、それはただの憧れだ。憧れならあきらめな。

安蒜英之

『努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る』 井上靖

